

環境経営レポート

活動期間 令和5年8月～令和6年7月



発行：令和6年11月8日

わたしたちの誇りは品質。

竹花工業株式会社

目 次

環境経営方針		1
組織の概要		2
組織図		3
再資源化(処理フロー)		4
主要な環境経営活動計画の内容		5
環境経営目標とその実績及び評価【本社】		6
環境経営目標とその実績及び評価【駒ヶ根支店】		7
環境経営目標とその実績及び評価【駒ヶ根工場】		8
主な環境経営活動の内容		9
環境関連法規への違反、訴訟の有無		13
次年度の環境経営目標・取り組み内容		14
代表者による全体の評価と見直し・指示		15

環境経営方針

1. 環境経営理念

高い技術、誠実、迅速を常に信条として社業を通じ社会に貢献し環境保全活動に
全社員で取り組みます

2. 経営方針

- 1) 事業継続・仕事の確保
- 2) 働き方改革
- 3) 人材育成
- 4) 労災防止・交通事故防止

3. 環境経営方針

- 1) 省資源・省エネルギーに取り組み、CO₂排出量を削減する
- 2) 分別の徹底により、リサイクルの推進を図り、廃棄物を削減する
- 3) 環境に配慮した建築物・工作物等の提案を行う
- 4) CS活動により、環境経営目標を達成する
- 5) 地域社会における環境汚染の予防及び拡大防止に努める
- 6) 環境に関連する法規制を遵守する
- 7) 本方針を全社員に周知し、継続的な維持改善を行い環境保全に努める

制定日 平成23年9月10日

改訂日 令和 5年9月17日

竹花工業株式会社

代表取締役 唐澤正幸

組 織 の 概 要

(1) 事業所及び代表者名

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤 正幸

(2) 所在地

本社 長野県小諸市南町二丁目6番10号
小諸生コン工場 長野県小諸市甲1816-1
工事施工部 長野県小諸市甲狐穴1818-1
田中支店 長野県東御市県518番地
軽井沢営業所 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字東屋敷浦4630-18
北軽井沢支店 群馬県吾妻郡長野原町大字応桑819-3番地
駒ヶ根支店 長野県駒ヶ根市中沢12175番地
駒ヶ根工場 長野県駒ヶ根市中沢3392番地

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 営業部長 小林 秀司
担当者 経理課長 小宮山 剛
連絡先 TEL 0267 (22) 1750 FAX 0267 (23) 3969
HP www.takehanakogyo.co.jp E-mail inho@takehanakogyo.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業 国土交通大臣許可（特・般）第3322号

営業種目： 建築工事、土木工事、管工事、とび・土工工事、石工事、ほ装工事、造園工事
鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、解体工事
電気工事、大工工事、屋根工事、内装仕上工事、タイル・れんが・ブロック工事
生コン等の製造販売、住宅販売、コンクリート補修、砂利・砂・砕石の製造販売
産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理(破碎)

一級建築士事務所 長野県知事登録（佐久）K第86095号

宅地建物取引業許可 長野県知事 (14)第1471号

産業廃棄物収集運搬業許可 長野県知事 2000029517

許可年月日 令和2年4月25日 有効年月日 令和7年4月24日

(5) 産業廃棄物処理施設等の状況

産業廃棄物処分業許可 長野県知事 2020029517

許可年月日 令和2年4月25日 有効年月日 令和7年4月24日

【中間処理施設所在地】 長野県駒ヶ根市中沢3242、3243

がれき類の破碎施設 固定式:RC-30 固定式:SAP-4K 処理能力(720t/日)

がれき類の破碎施設 固定式 処理能力(624t/日)

アスコン廃材 6,722.33t 二次製品廃材 1,154.32t

コンクリート廃材(無筋) 10,271.6t コンクリート廃材(有筋) 4,940.48t

(6) 産業廃棄物収集運搬の状況

収集運搬実績 業としての実績 0 t 自社収集運搬実績 709.1 t

(7) 事業の規模

設立年月日 昭和38年1月30日

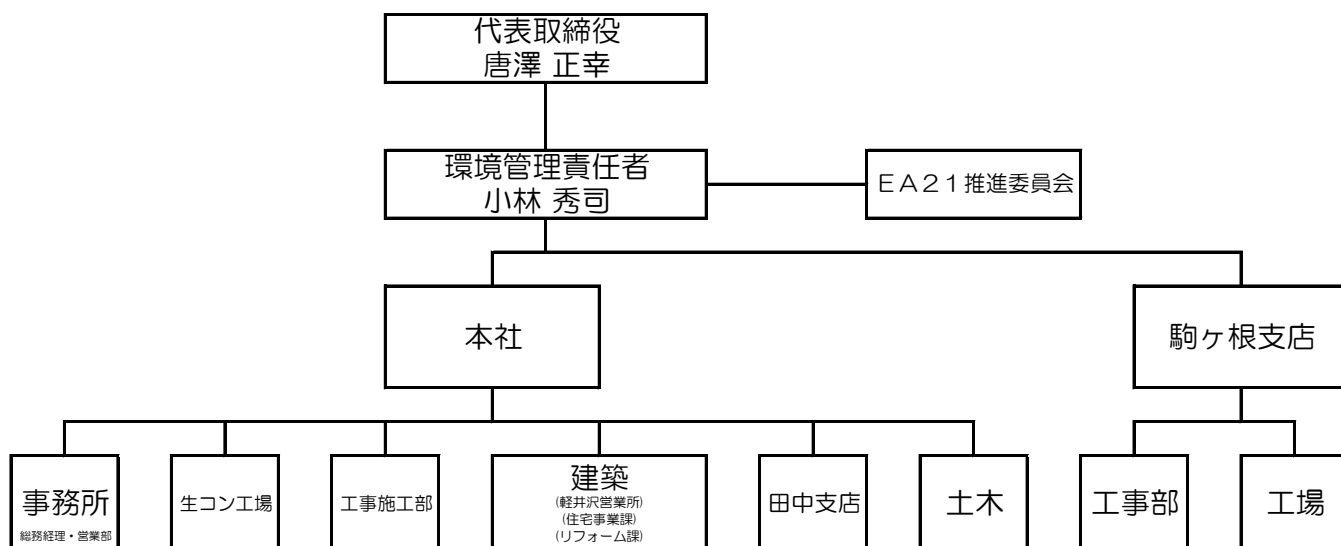
資本金 9,600万円（授權資本1億5,600万円）

売上高 43億5,447万円（第62期 R5.8.1～R6.7.31）

従業員数 147名

本社建物 鉄骨造陸屋根5階建て 延べ床面積 1,916.98㎡

令和5年度 環境経営システム組織図

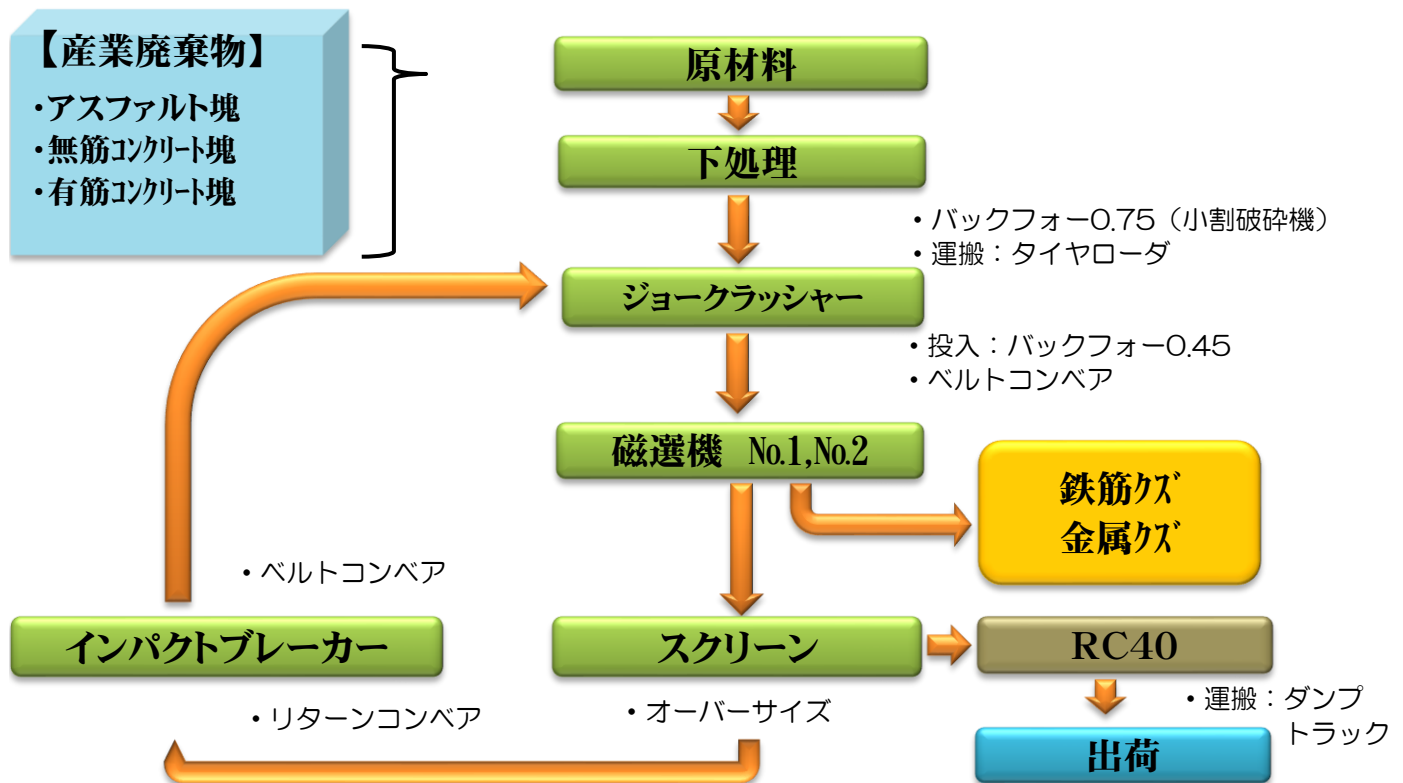


環境経営システム 役割・責任・権限表

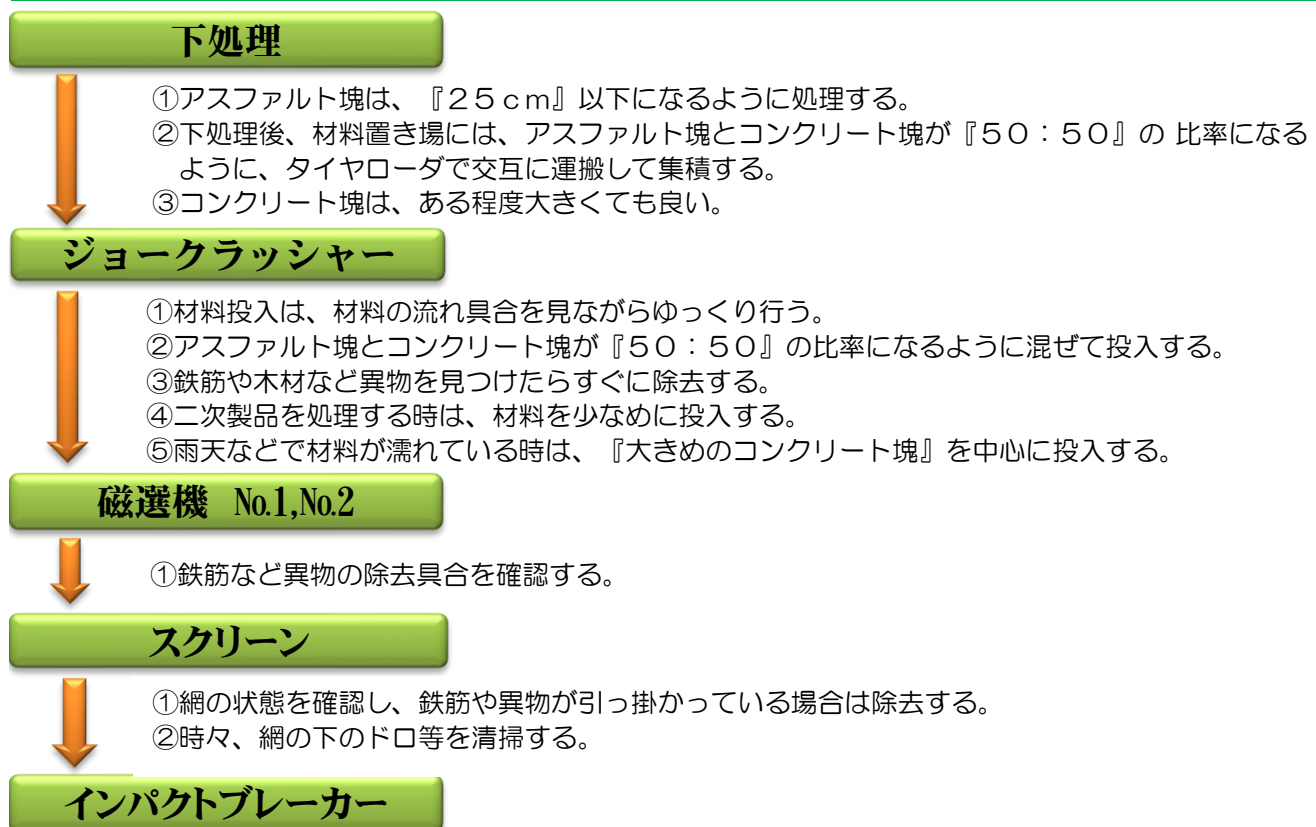
	役割・責任・権限
代表者 (社長)	- 環境経営に関する統括責任。 - 環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 - 環境管理責任者を任命。 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施。 - 環境経営レポートの承認。
環境管理 責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理。 - 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 - 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認。 - 環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。 - 環境経営レポートの確認。
EA21 推進委員会	- 環境管理責任者の補佐。 - 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 - 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成。 - 環境経営活動の実績集計。 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施。 - 自部門における環境経営方針の周知。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施記録の作成。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

※ 下請負人に於いては、対象外とする。

がれき類の破碎施設作業フロー図



がれき類の破碎施設作業要領書



【処理料金】

形状、数量等により異なりますので、弊社工場（TEL0265-82-5275）までお問い合わせ下さい。無料にてお見積りさせていただきます。

【保有する運搬車両】

11tダンプ 4台 、 4tダンプ 1台 、 2tダンプ 2台

令和5年度 主要な環境経営活動計画の内容

二酸化炭素の削減

- 【電力の削減】 削減率 －１％
 - ・昼食時及び不使用部屋消灯
 - ・OA機器の不使用时には電源をOFFにする
 - ・残業時間、夜間照明を必要最小限にする
- 【灯油の削減】 削減率 －０％
 - ・長時間不在時は暖房をとめる
- 【重油の削減】 削減率 －１％
 - ・生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する
 - ・日中はボイラーを止める
- 【都市ガスの削減】 削減率 －０％
 - ・不在箇所のエアコン電源OFF
- 【液化石油ガスの削減】 削減率 －０％
 - ・沸騰時にすぐ消火
 - ・音の鳴るやかん使用
- 【ガソリン・軽油の削減(自動車、建設機械等の燃料)】 削減率 －１％
 - ・エコドライブ・アイドリングストップを実施する
 - ・車両の整備、走行距離の定期的チェックを実施する
 - ・積載オーバーをしない
 - ・車両、機械の定期的整備を実施する
 - ・各現場へ乗り合わせて移動する。

廃棄物

- 【産業廃棄物の削減】 削減率 －１％
 - ・不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用）
 - ・分別収集によるリサイクル化の実施
- 【リサイクル化率の向上】 削減率 ＋０.２％

水

- 【水道水の削減・井戸水の削減】 削減率 －０.２％
 - ・水道水を出しすぎない
 - ・井戸水の使用量把握を行い削減につなげる

化学物質

- 【化学物質使用量の削減】 削減率 －０.２％
 - ・原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する

製品

- 【製品への環境配慮】
 - ・環境に配慮した製品を生産又は販売する

※ 基準年【令和３年度】からの削減率を記載

令和5年度 環境経営目標と実績及び評価【本社】

項目				基準値	令和5年度実績値				中長期目標値	
				令和3年度 R3.8~R4.7	削減目標値		令和5年度 R5.8~R6.7	評価	令和6年度	
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	207,330	▲1%	205,257	204,318	○	204,220	
		排出量	kg- CO_2	80,444	▲1%	79,640	79,275		79,237	○
	灯油	使用量	L	5,014	▲0%	5,014	2,032	○	5,014	
		排出量	kg- CO_2	12,495	▲0%	12,495	5,064		12,495	○
	重油	使用量	L	7,309	▲1%	7,236	5,457	○	7,199	
		排出量	kg- CO_2	19,805	▲1%	19,607	14,786		19,507	○
	都市ガス	使用量	Nm3	4,930	▲0%	4,930	4,444	○	4,930	
		排出量	kg- CO_2	11,021	▲0%	11,021	9,935		11,021	○
	LPガス	使用量	Nm3	77	▲0%	77	44	○	77	
		排出量	kg- CO_2	231	▲0%	231	132		231	○
	ガソリン	使用量	L	53,242	▲1%	52,710	50,155	○	52,443	
		排出量	kg- CO_2	123,610	▲1%	122,374	116,443		121,755	○
	軽油	使用量	L	218,989	▲1%	216,799	142,209	○	215,704	
		排出量	kg- CO_2	566,354	▲1%	560,690	367,784		557,858	○
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	813,959	▲1%	806,058	593,422	○	802,107	○
産業 廃棄物	排出量		t	3,450	▲1%	3,416	2,440	○	3,398	
	再資源化量		t	2,858	○	3,835	1,941	—	2,835	
	リサイクル化率		%	82	+0.2%	82	80	○	83	
水道水排水量			m ³	23,920	▲0.2%	23,872	23,121	○	23,848	
化学物質使用量			kg	2,260	▲0.2%	2,255	1,640	○	2,253	

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評 価

全体的には、自営の土木工事の減少・大型工事の減少により、重機の稼働率が下がり、廃棄物の排出量も減少した。また、生コン工場の出荷量についても減少傾向にあり、結果的に二酸化炭素排出量削減目標を達成することが出来た。

令和5年度 環境経営目標と実績及び評価【駒ヶ根支店】

項目				基準値	令和5年度実績値				中長期目標値	
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和5年度 R5.8～R6.7	評価	令和6年度	
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	37,071	▲1%	36,700	35,528	○	36,515	
		排出量	kg- CO_2	14,384	▲1%	14,240	13,785		14,168	○
	灯油	使用量	L	2,165	▲0%	2,165	2,161	○	2,165	
		排出量	kg- CO_2	5,395	▲0%	5,395	5,385		5,395	○
	重油	使用量	L	155	▲1%	153	36	○	153	
		排出量	kg- CO_2	420	▲1%	416	98		415	○
	都市ガス	使用量	Nm3	0	▲0%	0	0	—	0	
		排出量	kg- CO_2	0	▲0%	0	0		0	○
	LPガス	使用量	Nm3	197	▲0%	197	130	○	197	
		排出量	kg- CO_2	591	▲0%	591	390		591	○
	ガソリン	使用量	L	21,186	▲1%	20,974	16,323	○	20,868	
		排出量	kg- CO_2	49,187	▲%	48,695	37,896		48,448	○
	軽油	使用量	L	41,572	▲1%	41,156	31,246	○	40,948	
		排出量	kg- CO_2	107,514	▲1%	106,439	80,809		105,901	○
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	177,490	▲1%	175,776	138,361	○	174,918	○
産業 廃棄物	排出量		t	1,316	▲1%	1,303	1,650	×	1,296	
	再資源化量		t	1,316	○	1,303	1,650	×	1,296	
	リサイクル化率		%	100	+0.2%	100	100	×	100	
水道水排水量			m ³	899	▲0.2%	897	857	○	896	
化学物質使用量			kg	0	▲0.2%	0	0	—	0	

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評 価

産業廃棄物排出量は、工事の受注数・工種により変動するが良好に推移し、産業廃棄物の再資源化は、ほぼ100%出来ている。
二酸化炭素排出量は、目標値を下回る水準である。水道水も目標値を下回り活動は良好である。

令和5年度 環境経営目標と実績及び評価【駒ヶ根工場】

項目				基準値	令和5年度実績値				中長期目標値	
				令和3年度 R3.8～R4.7	削減目標値		令和5年度 R5.8～R6.7	評価	令和6年度	
二酸化炭素排出量	電力	購入電力	kwh	758,084	▲1%	750,503	716,308	○	746,713	
		排出量	kg- CO_2	294,137	▲1%	291,195	277,928		289,725	○
	灯油	使用量	L	15,535	▲0%	15,535	14,313	○	15,535	
		排出量	kg- CO_2	38,712	▲0%	38,712	35,667		38,712	○
	重油	使用量	L	4,000	▲1%	3,960	6,000	×	3,940	
		排出量	kg- CO_2	10,839	▲1%	10,730	16,258		10,676	○
	都市ガス	使用量	Nm3	0	▲0%	0	0	－	0	
		排出量	kg- CO_2	0	▲0%	0	0		0	○
	LPガス	使用量	Nm3	134	▲0%	134	12	○	134	
		排出量	kg- CO_2	402	▲0%	402	36		402	○
	ガソリン	使用量	L	4,379	▲1%	4,335	4,385	×	4,313	
		排出量	kg- CO_2	10,167	▲1%	10,065	10,180		10,013	○
	軽油	使用量	L	274,043	▲1%	271,303	216,062	○	269,932	
		排出量	kg- CO_2	708,735	▲1%	701,648	558,784		698,104	○
二酸化炭素総排出量			kg- CO_2	1,062,992	▲1%	1,052,752	898,851	○	1,047,633	○
産業 廃棄物	排出量		t	0	▲1%	0	0	－	0	
	再資源化量		t	0	0	0	0	－	0	
	リサイクル化率		%	0	+0.2%	0	0	－	0	
水道水排水量			m ³	689	▲0.2%	688	603	○	687	
化学物質使用量			kg	0	▲0.2%	0	0	－	0	

※電気使用量によるCO₂調整後排出係数は、中部電力(株) 2021年実績 0.388kg/kwhとする

評価

省エネ・再エネ対策支援の補助金で、コンプレッサーを新設した。
生コンプラント・砂利プラント、共に前年度より稼働時間等が減少していることも要因にあるが、機械が新しくなったことで、電力量が削減された。燃料の浪費も少なくなり削減につながった。

令和5年度 主な環境経営活動の内容【本社】

【環境美化活動】 地域貢献の一環として、現場周辺の清掃活動を実施した。

●開催日 令和5年12月8日

①市道0238号線 小諸市御影新田舗装修繕工事



●開催日 令和5年12月27日

①市道2573号線 小諸市柏木舗装新設工事



●開催日 令和6年5月23日

①天神トンネル上



②万仁田沢頭首工



③八子ヶ峰



●開催日 令和6年6月12日

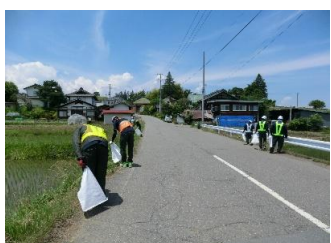
①耳取配水管



②中尾橋



③番屋橋



令和5年度 主な環境経営活動の内容【本社】

【緊急事態への準備と対応】

開催日 令和5年8月30日 午後1時30分～午後2時30分

場所 竹花工業 本社

訓練内容 ①通報訓練 ②避難訓練 ③消火訓練 ④救助者の搬送訓練 ⑤土のう作成訓練

①通報訓練



②避難訓練



③消火訓練



④救助者の搬送訓練



⑤土のう作成訓練



令和5年度 主な環境経営活動の内容【駒ヶ根工事部】

【環境美化活動】 地域貢献の一環として、現場周辺の清掃活動を実施した。

●開催日 令和5年11月14日
・出発式



駒ヶ根市中沢中割～駒ヶ根市中沢永見山 付近
・ゴミ回収



・終了挨拶、反省会



・ゴミ拾い



●開催日 令和6年1月23日
・出発式



駒ヶ根市上赤須 現場
・ゴミ回収



・終了挨拶、反省会



・ゴミ拾い



●開催日 令和6年4月25日
・出発式



駒ヶ根市東伊那 栗林工区 現場
・ゴミ回収



・終了挨拶、反省会



・ゴミ拾い



令和5年度 主な環境経営活動の内容【駒ヶ根工場】

【緊急事態への準備と対応】

開催日 令和6年7月31日 午前8時00分～午前8時20分

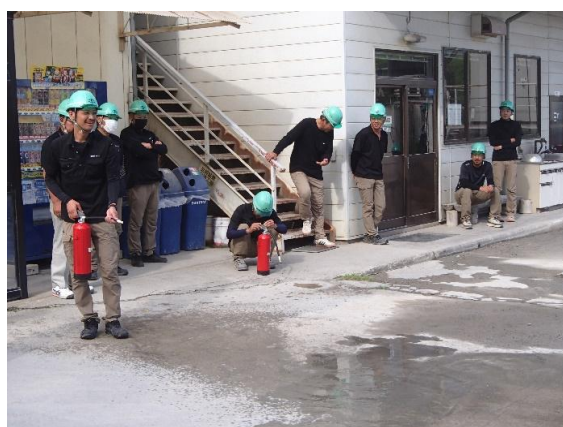
場所 駒ヶ根支店 生コン工場

訓練内容 ●消火訓練 ●消火器設置場所の確認 ●油漏れ発見時の対処方法の確認

①出火した場合・油漏れした場合の手順確認



②水消火器を用いて消火訓練を実施



【地域貢献】

内容 新宮川土手草刈り



令和5年度 環境関連法令等一覧表

主な法規制

法規・法令等名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
1.廃棄物処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
2.騒音規制法	特定建設作業（杭打ち機、削岩機等）の実施届出	遵守
3.振動規制法	特定建設作業（杭打ち機、ブレーカー等）の実施届出	遵守
4.大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う特定粉じん等排出作業の届出	遵守
5.建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	新築工事及び解体工事の実施の届出	遵守
6.労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業の届出	遵守
7.建築基準法	内装工事、空調工事に伴う使用禁止建材の規制等	遵守
8.建設工事公衆災害防止対策要綱	工事全般、解体工事に伴う付近住居者等への周知、塵芥・騒音防止の措置	遵守
9.フロン排出抑制法	解体前に設置有無確認 業務用エアコンの定期点検・簡易点検の実施と記録	遵守
10.消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請・届出	遵守
11.水質汚濁防止法	工事用排水、工場排水に伴う規制等 中和装置の設置届・特定施設設置届	遵守

- ・当社は小林管理者が中心となり法規の遵守状況について問題が無いことを確認しました。
又、過去3年間、違反、訴訟等の無い事を確認致しました。

次年度 環境経営目標・取り組み

令和6年度【令和6年8月～令和7年7月】

基準年【令和3年度】からの削減目標		取 組 み	取組重点部門
二酸化炭素の削減	電力の削減 -1.5%	1.昼食時及び不使用部屋消灯 2.OA機器の不使用時には電源をOFFにする 3.残業時間、夜間照明を必要最小限にする	各事業所
	灯油の削減	1.長時間不在時は暖房をとめる	各事業所
	重油の削減 -1.5%	1.生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する 2.日中はボイラーを止める	生コン事業部
	都市ガスの削減	1.不在箇所のエアコン電源OFF	各事業所
	液化石油ガス(LPG)の削減	1.沸騰時にすぐ消火 2.音の鳴るやかん使用	各事業所
	ガソリンの削減 -1.5%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する。 2.車両の整備・走行距離の定期的チェックを実施する 3.各現場へ乗り合わせて移動する。	各事業所
	軽油の削減 -1.5%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する 2.積載オーバーをしない 3.車両・機械の定期的整備を実施する	車両資材部 生コン事業部
廃棄物	産業廃棄物の削減 -1.5%	1.不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用） 2.分別収集によるリサイクル化の実施	各事業所 各現場
	リサイクル化率の向上 +0.3%		
水使用料の削減 -0.3%		1.水道水を出しすぎない 2.井戸水の使用量把握を行い削減につなげる	生コン事業部 各事業所
化学物質使用量の削減 -0.3%		1.原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する	生コン事業部 各現場
製品への環境配慮		1.環境に配慮した製品を生産又は販売する	生コン事業部 各事業所

代表者による全体の評価と見直し・指示

(建設業 現状)

我が国では人口減少という大転換期が始まり、若者や生産年齢人口が減少する中、本年1月1日に発生した「能登半島地震」では、能登地域を中心に甚大な被害を及ぼした。また7月の東北地方を襲った大雨や8月末の台風10号による水害など、近年は大規模自然災害が頻発しており、これら自然災害から国民の安全・安心を守るためにも地域建設業の役割は、益々大きなものとなっている。しかしながら、世界的な物価高騰や円安の影響による建設資機材の価格高騰・品不足などにより、地域建設業を取り巻く状況は大変厳しい現状がある。

その中で社会基盤づくりの主役を担う建設業が、地域活性化、地域創成を実現し若者が希望をもって働ける、活力と魅力にあふれる産業としての姿が求められている。また政府が取り組んでいる「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」においても、実行を担うのは主に地域建設業である。

昨年5月に新型コロナが5類感染症に移行されたことにより、社会経済活動が正常化し、県内経済は緩やかながら回復基調にある。一方でウクライナや中東情勢等により、世界経済の先行きが不透明さを増す中、多くの企業では物価高や深刻化する人手不足への対応に苦慮し、円安による輸入物価の上昇も重なり、厳しい経営環境が続いている。

建設業における時間外労働の罰則付き上限規制が本年4月から適用となり、働き方改革の着実な進展に向けた取り組みが喫緊の課題となっている。

働き方改革、DX等による生産性向上を進め、明日の建設業の担い手を確保・育成し、建設業の社会的使命を果たすためには、経営基盤の強化、経営の安定化が重要となる。

(竹花工業の現状)

前期は、売上高・営業利益共に減額となったが経費は確保できた。完成工事の未収金など問題は残っているものの、賞与の配布を行うことができた。

BCPで指摘されている本社・支店の建て替えは、駒ヶ根支店より解体がスタートした。今期はテクノ木造三階建ての着工を待ちたい。本社においては土地問題の解決を行う。

本社生コンは、信州Fソイル(流動化処理土)の出荷が増えている。新たに賃貸した千曲川砂プラントの改修も終わり、今期から正式稼働が始まる。

建物や設備を整えることで、人が集える会社としてイメージアップにつなげ、雇用に生かしたい。

今期、学卒の新入社員は採用できなかったが、途中入社7名の新しい仲間が増えた。今後も新卒者の募集と共に、即戦力となる途中入社や女性技術者・技能者を求めながら、離職防止に向けた施策を実施していく。

入職者の育成の一つとして進めてきた、資格取得のチャレンジを今年は多くの人が行った。結果はこれからだが、中堅も含めた技術者・技能者の育成、研修を続けていく。技術に優れた企業でなければ、生き残り競争に勝つことはできない。

常に業務内容を見直しやり方を変化させ、個々のスキルアップを図る事により、休暇取得の出来る職場環境への改善が必要である。

竹花工業にとって魅力ある新4K（給与がよく・休暇が取れ・希望が持てる・かっこいい）の職場を目指していく。前年はICT施工への取組を行った。

今後もできるところから対応し会社全体に広げていく。

ハラスメントの講習会や外部講師・指導者による様々な研修会・勉強会により、人材の確保や若手社員が働きやすい環境作りの模索は始まっている。

様々な活動がコロナ禍前に戻る中、会社の社員旅行やCS発表会を通常通り開催することができた。

CS活動ではそれぞれの部門が抱える問題の一部を、社員共有のものとして解決していく方向性が示せたと感じている。

3年前に発生した、熱海市土石流災害の事故に関連し、盛り土の管理規制が厳しくなり、建設会社として残土の処理・管理についても課題を抱えることとなった。社会貢献の一つとして、災害時の出動や除融雪・小規模維持補修への対応、施工部・直営を中心に例年通りの成果が得られた。

労災防止・交通事故防止を継続していく。工事現場の中で人手不足・高齢化が進み、現場責任者による安全管理の中で、作業員の能力にあった適切な作業であるかどうかの、見極めも課題となってきた。

毎月の安全パトロールにおいて注意を喚起できた。

健康診断の有所見者への再検査を促したが、数名はできなかった。

本年4月より時間外労働の罰則付き上限規制の導入が始まった。改善に向けて多くの部門でスタートが切れた。各自の仕事を時間を見える化し、今後も問題点を是正して行きたい。

CS活動の発表会が本社8チーム・駒ヶ根5チームで開催できた。継続する事により、組織の活性を図り問題点を全社員で共有する事で気付きを増やし、より良い会社を目指していきたい。

若手社員の意識変化を学びながら、技術・技能継承を行っていく必要がある。今後は社内制度の見直しと共に、ベテラン社員の意識改革が必須となる。

会社を取り巻く環境は常に変化していくが、事業の目的は「社員とその家族の幸せを追求し実現する」ことであり、あわせて外注先や仕事に関連する人たちを守ることによって、企業の継続の意味があると考えている。

見直し項目	変更の必要性	有の場合の指示事項等
1. 環境経営方針	有・ (無)	
2. 環境経営目標・計画	有・ (無)	
3. 実施体制	有・ (無)	
4. その他	有・ (無)	

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤 正幸